

先日、**金剛山頂** 付近で出会った赤い鳥、「オオマシコ」を紹介しましたが、それ以外にも次の種類の野鳥に出会いました。

写真 : ゴジュウカラ

このときは、地上を歩きながら草木の種子か昆虫を探しているようでしたが、この種の「特技」は、木の幹の表面を自在に歩き回ることです。

キツキ類やキバシリも幹の表面を歩くことができますが、**ゴジュウカラ**だけは頭を地面に向けて、ごく自然に歩きながら降りてくることのできるのです。

比較的高い山でしか出会うことが難しくなっており、都道府県のRDB(レッドデータブック)を見ると、大阪府では「**絶滅危惧 類**」、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県では「**準絶滅危惧種**」に分類されています。

大きさは「スズメ」と同じくらい(約14cm)です。

写真 : ヤマガラ

昔は「おみくじ引き」の芸を仕込まれたように、人になれやすく賢い種です。

番(つがい)の絆が、非常に固い種だと言われています。

大きさは「スズメ」と同じくらいです。

写真 : ヒガラ

低山帯から亜高山帯にかけての針葉樹のある林に棲む種ですが、真冬は平野部の林で見られることもあります。

木の高いところにいることが多く、なかなか撮影は難しい種ですね。

大きさは約11cmと、かなり小さいです。(シジュウカラは約15cm)

写真 : カヤクグリ

普通は夏山登山でもしなければ出会えない種ですが、冬季は低山帯まで降りてくるようです。

繁殖期以外は林や草藪の中から出てくるのが少ないので、見る機会の少ない種だと言えますね。

大きさは「スズメ」と同じくらいです。







